

ふれあいと語らいの同窓会



東実同窓会報

NO. 9

発行 〒144 東京都大田区西蒲田8-18-1 TEL. 03-3732-4481

東京実業高校同窓会編集委員会

同窓会の団結と少子化

同窓会会長 第39期卒 黒田 芳彦



新年あけましておめでとうございます。相変わらず景気停滞中の一年間、東実OB・OG諸兄姉の皆様方はいかがお過ごしですか。持ち前のねばり強さで乗り切っておられることと思います。

さて、東実同窓会はおかげ様で本年度も未だ途中ではございますが、各行事を無事にこなしてまいりました。本会の定期総会、東京高校の定期総会、懇親会、恒例の旅行会、体育祭、東実祭と参加してまいりました。特に定期総会においては、皆様方のご協力ですスムーズに運営できたことを改めてお礼申し上げる次第です。

また、体育祭においては、昨年から生徒が生徒の為の自主的な手作りの企画と運営を行っているとの事、大変感動いたし自分の若き高校時代を思い出させていただきました。

今後、新年会、卒業式、在校生幹事との懇談会、入学

式の行事が控えておりますが、同窓生の皆様方と学校の協力を得てこなして行きたいと思っております

なお、同窓会においては卒業生の数が少なくなり、年々減ってまいります。予算的にも幾多の問題が出てくると思っておりますが、慎重な運営をいたす所存です。

これからは、若い同窓生のより多くの参加を求め、幅広い年齢層による楽しい集いができるよう、幹事一同企画をねりたいと思っております。また学校と同窓会も大変仲良く、各種の行事を相談したり提起させていただいたりしながら、今後の運営と同窓会ならびに学校の繁栄に努めたいと思っております。

最後になりましたが、学校におかれましては益々の発展と同窓生におかれましては寒さきびしい折、お体をご自愛の上ご活躍下さいますようお願いいたします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



考え直そう、 世紀末の人間像

近頃の新聞を広げてみると、毎日のようにどこかで死体が見つかり事件となっている。新聞の三面記事はさながらテレビの世界のような話で賑わっている。

元来、日本人は農耕民族であり、漁業民族であった。島国ゆえに他の民族があまり入り込んでこない単一民族でもあり、戦国時代はいざ知らず、近代国家になってからは、そうおいそれと凶悪事件があったとは思えない。

ここ数年来の日本はどうであろうか。オウム事件が発覚して以来、人間の命というものがこんなにも軽んじられている時代というのは、今までになかった現象に思える。人間が動物の範疇であることは十分に認識していても、人間はやはり動物とは違うのだらうという考えは誰でも持っているであろう。

しかるに、人間は動物以下になり下がろうとしている。動物は自分の命を守る為のみ、他の動物を殺し、えさとする。しかし人間は欲望、嫉妬、感情、はたまた快楽の為に、いとも簡単に人を殺してしまう、何故こうも残忍になったのか。一つには食物の影響というものがあるように思えてならない、菜食動物は温厚で他の動物を攻撃しない。しかし、肉食動物は肉食であるがゆえに

理事長 上野 雅子



他の動物を襲う。

日本人も野菜や魚を食していた頃は、温厚で優しくたのではないだろうか。その菜食主義が薄れ、肉を好んで食べるようになってから日本人の性格は変わってゆき、攻撃的な人間に作られていったような気がする。肩が触れただけで人を刺す、注意されたからといってカッと成って相手をなぐる、自分の気に入らないことがあれば我慢せずに感情をむき出しにする、何かが足りない。どこかおかしい。

人間は肉食動物である。しかし考える能力がある、そこが他の動物と違う所だ。と認識し、万物の霊長などと思いがらならないことが必要であろう。医学の発達、科学の発達、人間はこれでもか、これでもかと果てなく欲望を満たして行く。

しかし、ここで足を止めて改めて考え直す時期なのではないか、神秘は神秘のままに残しておいても良いのではないか、何もかもあからさまにする必要があるのか。「お月様には兎さんが住んでいてお餅つきをしているのよ」と教えられ、遠い月を眺め、お餅をついている兎の姿を想像していた子どもの頃を懐かしく思い出すのは、私が年をとったせいなのだろうか。

めっき材料総合商社

株式会社 三 松

本 社 東京都大田区西蒲田7-57-11
〒144 TEL.(03)3733-7131(代)
営業所 藤沢市辻堂西海岸2-14-45
〒251 TEL.(0466)34-1711(代)
第17期卒業 村松 濱代

印刷物なら、何でもご相談下さい。

株式会社 佐々木印刷所

代表取締役 佐々木 努

昭17・M卒

東京都大田区多摩川1-18-5

TEL(03)3758-0710 FAX(03)3758-2821

横浜クリーニング

35・C卒 木村 恭久

本店：鶴見区佃野町35-5 ☎584-5757
支店：鶴見区東寺尾6-13-5 ☎584-6293

民間車検場

東京陸運局長指定第2-637号

各メーカー・新車・中古車・販売・車検・钣金・塗装
☆事故についてのご相談承ります☆

モリタ自動車

〒230 横浜市鶴見区市場西中町4-17

☎ 521-4521(代)

FAX. 504-5676

大東京火災海上保険株式会社代理店

代表取締役 森田 洋司 (昭41・M卒)

政界不信と教育改革 人間をつくる必要性

学校長 上野 毅



同窓生の皆様、新年おめでとうございます。最近新聞紙上でいろいろな改革の記事がみられます。

2年位前までは、行財政改革など5つの改革が言われて来ました。ところが1年位前に突然6項目の教育改革を加えたのが今の橋本総理です。困ったときの教育改革と申しましょうか。クリントン大統領も年度始め9月の挨拶で教育改革を呼びかけました。こちらは、大きな外交問題がないからでしょうか、民主党の献金問題や自分の疑惑問題をトーンダウンさせようと思ったからでしょうか。イギリスもこの時期、教育改革を訴え始めました。

さて、日本では時期的にどうして今、こういった変化と言いましょか、教育の進路変更がなされなければならないのかという点について少し書いてみたいと思います。教育改革を今までなし得たのは明治維新が1回目、2回目が今から50年前の第2次世界大戦後であり、今が3回目と言われています。改革が出来ればの話ですが、今回の改革は、今まで大学を出て大企業に勤めて終身雇用であった事と無関係ではありません。有名大学に入る為の入学試験の内容、とりわけ、短絡的知識偏重の正解だけを求めるそういった事と無関係ではありません。つまり、一定の水準の学力を持っていて型にはま

った、よく言うことを聞く集団で行動ができる人間をたくさん供給してくれというふうな社会が要求していたわけです。

しかし、受験戦争と知識詰めこみ教育が大きな弊害を生んできました。21世紀をリードする国際社会で活躍できる人間を育てる必要をせまられて来ました。それは「生きる力」を育てようという事ですが、この生きる力というのはわかりにくい言葉です。言いかえると、考える力、そして、自分を表現する力、討論する力、むずかしい言葉で自己実現力、を高める教育をしなければならぬと気づいたわけです。今、具体的に、中央教育審議会や教科審議会の中で、どういう授業をやったらよいかをみつめているところです。

あと数年たったら、中学校、高等学校のカリキュラムが、がらっと変わると思います。しかし、日本は貿易立国、わけても産業立国をやめるわけにはいきません。なぜなら、天然資源がないからです。そのためには、物を作る喜びを知る事を教育することはなくならないでしょう。

ここに来て、日本の教育の世界は大きく動いていると理解していただきたいと思います。

— 冷暖房設備・電気設備 —

有限会社 シタマ設備

舌間 寛 佳

41期 機械科

横浜市港南区丸山台3丁目30番6号

TEL.(045)845-7355 FAX.(045)845-2060

オーダーメイド専門

企画から製品まで(多少なりとも製作します)
ファイル・バインダー・表示板・掲示板・黒板・ディスプレイ
紙・ビニール・プラスチック・金属・ゴム・繊維・木製品 その他
米軍、銀行、航空、船舶、外国商社等納入

企画・製作

株式会社 伊藤商店 TEL(03)3241-1496-1497
第18期卒 伊藤勝啓 東京都中央区日本橋本石町
4-2-2

明るい21世紀を目標に

竹内運輸工業株式会社

代表取締役社長 竹内 喜代司

第18期卒(商業)

〒181 三鷹市下連雀8-3-16
TEL.0422-44-8264 FAX.0422-44-8771

いつまでも消えない 母親への思い



同窓会顧問 第17期卒
村松 濱代

世の中には不幸な方が大勢おられると思います。不幸にも色々な不幸がありますが、幼くして早く母親を亡くした方も不幸な一人であると思います。

私もその一人で、7歳の時に母を亡くしましたので、死んだ母については、余りはっきりした記憶がありません。私が小学校3年の時に、父と姉妹3名（姉一人、妹一人）が今の母の所に引き取られるようにして、引っ越して参りました。従って、小学校も大森第3小学校から蒲田小学校に転校しました。

父はサラリーマンで、その母は日本舞踊の師匠でしたので学校から帰ると玄関の土間にお弟子さんの下駄が沢山並んでいました。それを見ただけでとても寂しい思いを致しました、それは死んだ母と違って学校から帰って来ても母との会話が出来なかったからです。

ある日、私は心を決めて書き置きを残し、祖父の家に家出をしてしまいました。父が何度も迎えに来たり、先生から家に帰るように言われたりしましたが、約1年間

祖父の家から学校に通ったのです。祖父の家には叔母（未婚の娘3名）達もいて大変可愛がってくれたので、住み心地もよく今の母の所には帰りたくなかったのです。

子どもの頃一番嫌いだっただのは、友達の家遊びに行くことでした。それは母親から友達が可愛がられているのを見るのがたまらなかったからです。また親に手を引かれて歩いている子どもを見るのもたまらなく嫌でした。

今のいじめと同じですが、2度目の母が踊りの師匠をしていたので同級生から「濱ちゃんハマッパヨ、ペンペン引くなら金おくれ」と悪態をいってからかわれ、子ども心に悔しくて転校してからは同級生と余り遊ばなかった記憶です。

現在は母親がパートに出たり、子どもが帰るころ家を留守にしたりして、俗にいう鍵っ子が多いようですが、子どもの将来のために考えてあげた方がよいと思います。

戦争と平和

第19期卒 吉浜 照治



私達が母校東実に入學したのは1939年（昭和14年）です。戦争の足音がひびいていました。しかし母校には特色のある先生方が多く在職されていました。更に現在の部活動に当るクラブ活動はまことに盛んでありました。

テニス、文芸、野球、弓道、剣道などがありました。太平洋戦争（1941年）が始まるとともに軍国主義教育が強化され、時代は私達を一気に押し流してゆきました。

こうした中で私達は母校を卒業しましたが、戦争、戦災そして戦後の混乱の中で、それぞれ生きることに懸命であり同窓会どころではありませんでしたが、昭和30年代に入りようやく同窓会が開催できるようになりました。現在では同期卒業生160人のうち85人が健在であり、物故39人、音信不通35人です。

近年の行事は古き昔にかえり、学校時代の足跡をふり

かえる再探訪の旅行などを行っております。昨年は山梨、一昨年は富士山麓などへ行きましたが今年はまだ未定です。

みんな70才を過ぎ時間はありますが足腰が言うことをきかない者もありますが生きている限り同窓会はつづけるつもりです。（この原稿は去年のものです）



厳肅な総会

賑やかに76名のパーティ

同窓会副会長 第42期卒
白田佳彦



ここ2、3年は母校で開催しておりましたが、本年度は、JR蒲田駅から母校に行く途中にあるブライダルパレス「ア・ペア」にて、6月28日(土)午後3時より開催されました。出席者は昭和19年まで10期代の方31名、20期代6名、30期代21名、40期代16名、51期代1名、70期代1名と半世紀程の年齢差の76名の方々の出席がありました。

黒田会長より、各委員会の活動がようやく機能し、新しい人達の行事参加者が少しずつ増えた旨の挨拶がありました。続いて上野校長先生より、学校の近況報告があり、在校生の活躍ぶり、新入生の入学状況等、母校の活気に満ちた内容のご挨拶を頂戴しました。

議事は、黒田会長が議長に選ばれ、第1号議案から第5号議案の審議が行われ、総ての議案が満場一致で承認され、無事終了しました。(ここで記念写真撮影)

続いて同場所で懇親会が開催され、ご来賓として上野雅子理事長、東京高校同窓会の山本晴之介会長並びに、増田京子事務局長、学校関係者として上野学校長、嘉戸副校長、小島、浅賀、知念、相沢、米田先生の方々が、ご出席下さいました。

この懇親会に併せて、同期会と一緒に実施した期もありました。久々に出会った同級生、先輩、後輩と当時の思い出話が尽きず、アツと言う間に2時間が過ぎてしまいました。最後に全員で校歌を斉唱して、再会を誓い、和やかな雰囲気の中、閉会となりました。今回は総会委員、総務委員を始め常任幹事の皆様のご協力で、盛大に終わりました。ご協力ありがとうございました。

本年度、ご都合で出席できなかった会員の皆様、同窓生相互のコミュニケーションの場として、また情報交換の場として、ぜひ次年度は気軽にご出席下さい。



平成9年度 東京実業高等学校定期総会 (25期~70期) 1997.6.28 蒲田アペア



懇親会風景



総会風景

平成9年度の同窓会事業計画

・広報編集

同窓会会報誌 第9号の発行
発行配布日 平成10年2月1日

・定期総会

①第1部 定期総会

日時：平成9年6月28日(土) 15時より
会場：蒲田 プライダル パレス「ア・ペア」

②第2部 懇談会

日時：会場共に上記総会終了後 16時より
会費：¥5,000-

・旅行会

第15回 懇親旅行実施

日時：平成9年9月6日(土)～7日(日)
6日9時学校出発～7日17時学校帰着

一泊2日 バスの旅

旅行先：伊豆熱川「セクス・ロイヤル」

参加費：¥30,000-

・新年会

日時：平成10年1月25日(土) 18時より

会場：川崎駅ビル「カメラア・ホール」

好評につき昨年と同じ

会費：¥10,000-

・企画総務

- 1、常任幹事会開催準備
- 2、新幹事と同窓会への勧誘
- 3、活動に向けての体制づくりを検討
- 4、母校の行事に積極的に参加
- 5、当会に必要と思われる会にも参加

平成9年度の収支予算書

自 平成9年4月1日

至 平成10年3月31日

【収入の部】

【支出の部】

科 目	8年度決算	9年度予算	備 考	科 目	8年度決算	9年度予算	備 考
前年度繰越金	727,204	1,487,071	前年度より	事務消耗品費	196,449	200,000	封筒・文具類他
終身会費	6,480,000	5,000,000	新卒業生他	通 信 費	402,618	430,000	ハガキ・切手等
寄 付 金	423,000	100,000	事業寄付	印 刷 費	61,800	150,000	各種行事案内状等
名簿販売代金	0	0		会 議 費	178,601	200,000	各準備会・幹事会等
広 告 料	66,000	50,000	会報広告	慶 弔 費	316,320	500,000	卒業生77(47)名他
受取利息	6,163	5,000		総 会 費	42,625	300,000	
積 立 金	0	0		懇親旅行費	239,041	200,000	
雑 収 入	0	0		新年会費	147,089	200,000	
				会報発行費	519,793	500,000	第9号発行
				名簿発行費	0	0	
				助 成 費	605,480	500,000	母校へ助成
				積 立 金	3,500,000	3,000,000	周年行事・名簿等
				支払手数料	0	0	振込手数料他
				予 備 費	1,492,551	462,071	次年度へ繰越
合 計	7,702,367	6,642,071		合 計	7,702,367	6,642,071	

母校から歩いて1分

総合印刷 (有)正弘堂印刷

22期卒 井 上 實

〒144 大田区新蒲田1-7-15
TEL. (03) 3736-5692
FAX. (03) 3736-5699

赤いくつの詩

銘菓よこはま

横濱西洋館

株式会社 アルベリ

昭23・C卒 山本徳太郎
昭38・C卒 田所 豊
横浜市鶴見区豊岡町7-14 TEL (045)581-5441

熱川セタス・ロイヤル 火のタマ30名が走る

第29期卒 箕輪弘数



9月6日(土)、7日(日)伊豆熱川「セタス・ロイヤル」へ年中行事の一泊旅行が行われた。参加者は30名(男18名女12名)何故か今回は体調を崩したり用事と重って常連さんの不参加が目立ち、例年より10名少なくそのうえ当日には3名の不参加者が出た。

学校を定刻前に走り出した途端、一人置き去りにしたことがわかり、結局学校を一周し定刻の9時45分、全員が揃った所で出発し直した。

やがて、バスの中は動く宴会場と化しゲーム、カラオケで盛り上がる。東名は渋滞もなく大井松田ICで下り第一目的地、大雄山最乗寺へ着く、うっそうとした杉木立に囲まれたここは天狗を山の神として祭り、御真殿には天狗ゆかりの高下駄がすべて願いをこめて寄進されたものが大小さまざま百足以上あり、ひととき大きい朱塗りの鉄製の和合下駄(約3トン)と呼ばれる。寺の名物で世界一大きいと触れ書きに記されてあった。下駄は左右揃って一足とみなすため、人と人の調和を象徴し常に自分自身の足元を見て生きよという禅宗の教えが含まれているということでした。

箱根へと向かう車窓からの箱根路は初秋の気配が感じられた。ここで昼食となるが、出発時に二度目の置き去りがあった。

第二の目的地では伊豆大室山公園にて休憩し山頂迄リフトで上る予定であったが、ホテルでゆっくりと温泉に入りたいという希望者が多く、省略させていただいて早めにホテルに入る。

滝が流れている女性の野天風呂、海側に広々とした男

性の露天風呂は旅の疲れをいやし、ゆったりとした気分が味わえた。宴会は田所氏の進行で理事長並びに会長挨拶に続き、先輩、後輩と差別のない同窓会ならではの和の良さ、無礼講にて酒宴が催された。また旅行の折には村松顧問による華麗なる日本舞踊を披露して頂き、感謝しております。宴が終り二次会はクラブを貸切り、カラオケ、踊りなど夜のふけるのも忘れ、にぎやかな楽しい時を過ごす。

翌朝、ホテル前にて集合写真を撮り9時半出発河津ループ橋を通過浄蓮の滝で休憩健脚組は滝まで降りた。

昼食は大仁洋らんパークにてちらし寿しの食べ放題、お茶の飲み放題で、どのテーブルも寿しを半分以上残していた。再びバスに乗り最後の目的地柿田川公園へ向う。

柿田川は富士山の融雪が何百年もかかって溶けて川の長さは数キロと短い。しかし、水の清さは抜群である。今回、川底に梅の花に似た白い梅花藻(開花6~8月)の花が見られると思いい期待していたが、見られず残念であった。それでも、だれかが湧水をコップにくんできてくれた。一気に飲み干し「あうまかった」と言ったとたん、草の中にうずもれ読みとれない立て札が目に入り「飲料水ではありませんから飲めません」とあり思わずゲッ。

途中、沼津さかなセンターに立ち寄り、それぞれが土産を買い求めた。三度目の置き去りはなく無事帰路に。

同窓会の懇親旅行はいろいろな思い出が作れます、今年是非ご参加をおすすめいたします。



新年会

1月の最終土曜日

於 川崎カメラホール

本年度も1月25日(土)川崎駅ビル8階のカメラホールにて新年会が開催されました。

午後18時からの開催ですが、同期の仲間に会いたい思いから1時間前には多数が集まりロビーでの会話が盛り上がりました。会長、理事長、校長、来賓の挨拶が終って、懇談が始

まりました。あちこちのグループに分かれてのおしゃべりが弾み、楽しい時間はアッという間に過ぎてしまいました。

閉会後は、別れを惜しむ同期やグループが仲間を誘い会い二次会へと散っていきました。(新年会幹事・栗花)



おめでとうございます

平成9年11月3日文化の日に、第19期卒の吉浜照治氏は勲五等双光旭日章を受けられました。

吉浜氏は川崎市の中島町に住まれ、地域の開発、福祉の事業など長年に亘り尽力されたことを認められたものと思います。

我々同窓会々員として誇らしい出来ごとであります。心よりお祝い申し上げます。

(編集委員)



学校近況報告

副校長 嘉戸直民



卒業式と入学式

3月3日(月)、平成8年度の卒業式が行われた。機械科206名、電気科100名、商業科266名、普通科75名の合計647名が晴れの卒業証書を手にし、第72期生として巣立って行った。それぞれの進路としては、就職239名、専門学校240名、大学47名、家業その他121名である。

4月7日(月)、平成9年度の入学式が行われた。今年度は機械科186名、電気科77名、商業科188名、普通科104名の合計555名を新入生として迎えた。上野毅校長より「不撓不屈のもとに真の友人との出会いを通して、しっかりと三年間を過ごしてほしい」との式辞に新入生一同気をひきしめた。

交換留学生来日

6月21日(土)、アメリカ・コロラド州のボルダーから8名(ボルダー高校3名・フェアビュー高校2名・セントーラス高校、ニュービスタ高校、ブルームフィールド高校各1名)の留学生がケリー・フォスター先生の引率で来日した。生徒会では交換留学生歓迎委員会を組織し、ウェルカムパーティーからさよならパーティーまで積極的に行った。滞在期間中、東実での授業参観をはじめ、東京高等学校や小・中学校を訪問した。日光や京都などを観光し、日本や日本の文化を理解して8月2日無事帰国した。

体育祭と東実祭

10月2日(木)、平成9年度の体育祭が江東区の夢の島陸上競技場で行われた。例年の会場である大井陸上競技場が改修工事のため、江東区の会場が選ばれた。当日は好天に恵まれ、遠路にもかかわらず多数の父母が参観のためかけつけてくれた。体育祭実行委員の生徒が中

心となり、広い会場で終日生徒達はのびのび競技に打ち込んだ。

11月1日から3日まで東実祭が開かれた。今年は学校創立75周年に当たり、その記念式典では永年勤続の先生方が学校長より表彰された(勤続40年-平田文雄先生・遠藤幸喜先生、勤続30年-嘉戸直民先生・青木英二先生、勤続20年-有田幹雄先生、勤続10年-村上信人先生、田中新一先生)。天候にも恵まれ、期間中2,200人もの来校者があった。

クラブ活動

野球部…東東京予選において、優勝候補とも思われる関東第一と世田谷学園を破り、昨年同様にスポーツ新聞を賑わせた。

レスリング部…少ない部員ではあるが、伝統あるクラブとして夏の国体に1名が東京代表として出場した。また、アメリカのミシガン州選抜チームを迎えて、第37回日米親善レスリング大会が6月25日、本校体育館で行われた。

吹奏楽部…10月25日の関東大会を勝ち進み、来たる1月17日(土)武道館で行われる全国大会への出場を決めた。

卓球部…新人大会団体の部で東京都7位となり、1月18日(日)東京・神奈川大会へ出場決定。

新任の先生

国語科へ宮田宏輔先生を新任として迎えた。

退職の先生

永い歴史のある我が校には、古い教職員の先生方も多くいらっしゃいます。本年は3名の方が退職されます。志賀秀春先生(昭和30年5月より平成10年3月の42年間)、平田文雄先生(昭和32年4月より平成10年3月の41年間)、橋本 亮職員(昭和37年2月より平成10年3月の30年間)と各々の立場にて、本当にご苦勞様でした。又年度途中ですが、事務所本間いず美さんには結婚のため退職されます。いろいろ事務の立場で同窓会の面倒も見て頂き、ありがとうございました。どうぞ皆様方、お幸せに……

(お詫び：両先生からの原稿を頂いておりますが、紙面の都合で次号に掲載させていただきます。悪しからず。)

木造住宅耐震補強工事
建築・土木防水工事
リフォーム工事

渡辺商会
渡邊正信

知事許可
(般-9)第5472号

2級建築施工管理技士
第3回卒業機械科(専門学校)第37期卒

〒350 横浜市磯子区森6丁目11番20号
TEL.(045)761-3010(代) FAX.(045)761-9570

学校行事 ～～この一年間～～

平成9年4月5日 始業式(第1学期)	平成9年11月28日 期末試験(2年生)	12月2日迄
7日 入学式(平成9年度入学)	12月3日 期末試験(1・3年生)	6日迄
9日 1年生研修宿泊旅行(4泊5日)	3日 2年生修学旅行(九州)	10日迄
↓ 2年生社会見学・スポーツ大会等	8日 普通科 冬期講習会	19日迄
13日 3年生社会見学・スポーツ大会等	21日 終業式	
5月21日 生徒総会	平成10年1月8日 始業式(第3学期)	
6月7日 先生と生徒の懇談会	22日 推薦入学試験 翌日発表	
10日 開校記念日(創立75年目)	26日 卒業試験	29日迄
21日 交換学生来日	2月10日 一般入学試験	11日発表
7月4日 期末試験	3月3日 卒業式	
19日 終業式	4日 学年末試験	7日迄
22日 求人票閲覧(就職相談)	9日 スキー教室	14日迄
8月20日 求人票閲覧(就職相談)	10日 普通科 春期講習	19日迄
21日 普通科夏期講習会	21日 終業式	
9月1日 始業式(第2学期)		
16日 就職試験開始		
10月2日 体育祭		
15日 高校入試説明会		
11月3日 東実祭(毎年11月第1金・土曜日)		
19日 生徒会役員選挙		

以上は主な行事のみ。本校では種々検定、資格試験をすすめている。

工業系：アーク溶接技能検定・ガス溶接技能検定・有機溶剤作業主任検定・移動式クレーン玉掛け技能検定・電気工事士・ラジオ音響技能検定・計算技術検定

その他：珠算検定・簿記検定・ワープロ検定・英語検定・旺文社進学模試・漢字検定

生徒会長

11月19日の生徒会役員選挙で、平成9年度の生徒会会長に選ばれた商業科2年C組の近藤洋平です。

私はこの高校に入学して1年生の時に、東実祭の書記に任命され東実祭実行委員長たちとがんばり、東実祭を成功させることができました。引き続き、1年生の11月から生徒会文化副部長として、生徒会活動を経験してきました。そして今回、生徒会会長となり今まで自分がやってきた仕事とはまったく違い、あらゆる企画、実行等成功させなければならなくなりました。しかし、今回の生徒会の任期は来年の一学期で終わってしまいます。そのため行事の中の最大イベントである東実祭や体育祭などが私達の代ではできなくなり、次の代に引き継がれることになってしまいました。しかし、この短い期間の中で今回の生徒会が何をしたらいいのかと色々考

商業科2年 近藤洋平



えました。そして、私達今期の生徒会役員全員が協力し、先輩方が私達に残して下さった伝統を受け継ぎ、改善して次の代の生徒会に引き継ぐことが私達の使命ではないかと考えています。

私達生徒会が月に2・3回発行している「菩提樹」の内容を充実させ、具体的に生徒会の活動などを掲載して、多くの生徒、皆さんに私達生徒会の活動を理解してもらいたいと思います。そしてクラブ活動の様子など学校全体の情報もあわせて掲載して、東京実業を育てて行くのは生徒の皆さん全員の協力が必要なのだ、と訴えて行きたいと思っています。また他校との交流を通して、その良い部分は取り入れ、より良い東京実業を作って行きたいと思っていますので、先輩方の暖かいご支援、ご声援の程宜しくお願いいたします。

商業科報告

新鋭小島先生を迎えて
生徒もハッスル

同窓生の皆さんお元気ですか。商業科は各学年4クラス、生徒数527名で学習に部活にと元気に頑張っています。昨春から小島茂先生（一昨年度定年退職された小島浩先生のご子息）がCIAの担任に加わり、熱心な指導で生徒達を引っ張っています。生徒達の取り組みも熱心で、各種検定試験の前などは補習終了後も居残り、学校が閉まる時間まで頑張っています。その熱気には担当の先生も嬉しい悲鳴を上げています。

今年度、新たな設備が加わりました。以前実習工場2階にあった商業科実践室が2号館4階（職員室上）に移設、念願だった準備室も併設されました。

実践室には多目的に使えるよう移動できる長机を備え教室も自由にレイアウト出来るようになってきました。薄記黒板のほか、60インチスクリーン、スピーカー、高性能プロジェクターを設置し、消費者教育関連ビデオの視聴を始め、ノートパソコンを使ったプレゼンテーショ

商業科長 小畑 雅一



ンの実習などもできるようになりました。放課後は珠算部、簿記部の活動の場、各種補修、生徒達の自習室としても活用しています。

準備室では、商業科生徒の個別面談や進路指導、検定申込みの受付などを行っています。今まで場所がなく商業科としての一体となった活動が不十分であったものが、この準備室の完成により、かなりスムーズにいくようになりました。

間近に迫った新たな世紀に向けて、同窓生の皆さんもお仕事に生活にと、その準備に余念がない時期かと思いますが、商業科としてもその流れに乗り遅れないように新しい商業科を作るべく、日々研究と実践を試みています。今後も同窓生の皆様のお力を借りることが多々あると思いますが、その節はよろしくご協力のほどをお願いいたします。

電気科報告

進学希望が増大

電気科には、今年も元気でかわいい新入生77名が入学し、早く学校生活になじもうと頑張っております。

恒例の奥只見水力発電所、柏崎刈羽原子力発電所見学は、7月9日から12日まで3泊4日、1年生を中心に実施いたしました。奥只見の雄大な自然の中で、発電所見学は勿論、体育館で発電所の出来上がるまでのしくみ等を学習しました。また、ダムサイドで思いきりスポーツに汗を流し、元気に学校にかえって参りました。

つぎに、第二種電気工事士免許証を在学中に取得させるために、毎年2年生を中心に講習会を開き指導しております。第1次の筆記試験の合格者は36名（62名中）ですが第2次の実技試験の前日まで、学校で講習会を実施し、全員が合格することを目指します。

卒業生の進路状況は、大学10%、専門学校50%、就職30%、その他10%ですが、最近の傾向として、進学希望者が増加し、就職希望者は減少きみです。

電気科では、入学してきた生徒が早く学校生活に慣れ授業にスムーズに入れるよう、ホームルーム等で環境作

電気科長 佐藤 節夫



りをやっておりますが、なかなか授業になじまず、困らせる生徒もいるのが現状です。もともと、電気関係の教育を理解せず、親や中学校の先生のすすめを受けて、なんとなく入学して来る生徒が増えているようで、その対応に苦慮しております。

教職員一同、入学して来た生徒ひとりひとりを大切に、落ちこぼれないようにその指導法を検討しておりますが、電気、商業科では1日体験入学を9月20日に実施し、入学前から科の学習内容や特質をよく理解してもらう取り組みを今年度試みました。

また、基礎、基本となる生活習慣を正しくし、授業を受けさせるため

- ・生徒の個性と能力の把握
- ・多様な学習活動の設定
- ・評価活動の工夫

などなど、生徒が取り組みやすいように、自分で解決できるように指導案作りを検討しているところです。

機械科報告

CADの増加で実習が充実

今回は機械科の工業基礎、実験・実習の内容について紹介いたします。

1年生は機械・溶接・放電ワイヤーカット・電子工作実習の4部門。2年生は機械・パソコン実習、材料・流体実験の4部門を各クラス4班に分けてそれぞれ4時間と3時間の6週で行っています。3年生は選択実習と課題研究に分かれ、選択では材料・マシニングセンターCAD・応用工作（カットエンジンの製作・スターリングエンジンの製作）課題研究ではパソコン・ロボット・計測・NC旋盤の実験・実習を行っています。前者は4部門の中より2部門を選択し4時間の10週で前後期に分けて行い、後者は1、2年生と同様に各部門を2時間の5週でローテーション受講しています。

最近においてはコンピュータ教育も今まで以上に充実し、広範囲に実践されています。1年生の放電ワイヤーカット、2・3年生のNC、MC実習等ではキーボード、マウスを使い図形、諸条件を入力し加工実習を行っています。パソコン実習ではBASICによりプログラム作成、ワープロソフト、表計算ソフトの代表的なソフトの一太郎、Lotus1-2-3を使い実習を行っています。

今回紹介するのはCAD実習です。今までは台数が少

なく十分な授業ができませんでした。本年度より15台が新設され、今まで以上に充実した授業が展開されています。皆様方はすでにご存知かと思いますがCADについて簡単に説明します。

CADとはComputer Aided Designの略でコンピューターと対話しながら設計作業を効率よく図面を作成する事ができ、過去の図面のデータの修正や膨大な設計データの利用や経験に頼っていた作業を合理的に、かつ短時間に処理することができるものです。

最後に本校のCADシステムを紹介し結びとします。

本体 NEC PC-9821 V166

CADソフト Autodesk社 AutoCAD Release 13J



平成9年度（第73期）卒業新幹事名

平成10年3月卒業の同窓会新幹事をご紹介します。

クラス	担任	各クラス2名
M A	久保先生	飯田孝男・大橋弘和
B	日比野先生	赤木淳慈・澤口賢太郎
C	横田先生	池田健太郎・山下貴也
D	村上先生	阿部孝之・小塚信行
E A	岡田先生	西郷勢治・山口哲雄
B	須賀先生	内山寛之・中川一博
C A	鈴木(政)先生	鈴木利学・長久保幸司
B	田中(新)先生	片江真人・高橋秀樹
C	工藤先生	野村嘉郎・渡部剛志
D	有田先生	平野将登・宮下大樹
O A	知念先生	小島朋陽・松山弘昌
B	高橋(修)先生	金大生・原田雄介

以上12クラス・24名の皆さんです。今後は同窓会の幹事として、ご協力下さる事を期待しております。

満3才になりました パブ ラ・ビアン

代表取締役 瀬川千寿(営42年卒)

蒲田西口駅前郵便局前

理髪店上(沢田ビル4F) ☎3733-7796

普通科報告

御殿場で学習合宿

7時起床。ラジオ体操を終え朝食をすませると、9時からは国語、数学、英語の選択授業が12時迄行われる。

普通科生は今、1976年普通科設置以来伝統となっている学習合宿で、静岡県の御殿場にきています。

今年度は、1年生が7月10日～14日、2年生(3年生)は14日～18日迄、それぞれ4泊5日の学習です。一人の欠席者もなく、参加予定者全員が集中授業に取り組んでいます。

1年生の時間割を見ると、午後は2時30分～5時迄必修の英語、夜は7時から9時30分まで、英、国、数の選択授業とかなりのハードスケジュールです。夏休み前に学習習慣の確立、基礎学力の養成を目指すもので、昨年同様、今年も商業科、機械科の進学希望者も参加、普通科生に負けじと深夜まで学習に励む頼もしい姿が見られます。

平成9年度入試では493名が普通科を受験。4月7日の入学式には103名の新生子が顔を合わせました。A組

もちのちの献立

普通科長 知念義裕



には国語科の北井先生、B組には理科の森先生、そして、新任英語科の藤吉先生がC組の担任としてスタートした1年生もすっかり学校生活に慣れてきました。普通科生は、この学習合宿後、8月20日から9日間にわたり夏期講習を受講します。

6月には、2年生を対象とした旺文社の先生による進学講演会も行われ、大学進学のためにはどのような高校生活を送るべきか、心構えについてもアドバイスを受けました。(1年生は進学講演会を9月に実施)こうしたさまざまな行事は、普通科生が自己の進路について真剣に考えて欲しいとの担任の願いが込められているのです。

電気科の補修に参加し見事に電気工事士試験に合格した生徒、また、商業科の生徒と一緒にワープロ検定に取り組み、3級に合格した生徒、あるいは、ロータリークラブの奨学生として米国に留学が決まった生徒もいます。

東実、普通科、今年も頑張ります。

東実高での家庭科授業

教 諭 関 口 みつえ

「ずいぶん手際良くなりましたね。」「本当に、大声を張りあげなくて済む様になりましたね。」、先日今年度最後の調理実習終了後の(8回目の実習)是枝先生との会話です。

今回の献立は、クリスマスメニューを意識してのローストチキンとピラフでした。二時間という限られた時間内での説明、実習、試食、片づけと、学年の初めの頃は時計をみながらの授業が、秋ごろからは私共も楽しみながら余裕を持って進められる様になりました。相手が男子生徒ということをあえて意識せず、目的を自分自身の力で健康な生活を送ることのできる知識、技術を身につけ、家族と協力して家庭を営むことにおき、わかりやすく興味のもてる楽しい授業にと努めております。時として「この間のグラタン家で作ってみたよ。」「調理

実習は楽しい」との生徒の言葉は私共の大きな喜びです。



現実と追憶のはざま

谷藤 念 咲 委員 監修

昨年度、同窓会の懇親旅行は会津だった。白虎隊の墓を参詣した。16歳か17歳の少年達だったとのこと。今の高校生位だ。私は「死の美学」と思った。死ぬことで全てを清らかなものにする。太平洋戦争中もそうだった。名誉の戦死、玉砕、特攻、バンザイ突撃など、捕虜になるより死ね、それが全てを清算し、尊いものとされた。「武士道は死ぬことと見つけたり」とも「死生命あり論ずるに足らず」とも言われた。

しかし、そんな中であって東実の方針は違っていた。上野熊蔵校長は、みんな戦地へ行って死んでくれとは言わなかった。逆に、「踏まれてもけられても生きるんだ。雑草のように生きるんだ」と言われた。その方針だろうか、教練の宮野先生も、戦死して悠久の大義に生きよ、などと野暮なことは言わなかった。

何となく怖く、きびしい先生だった。しかし、人を引きつける魅力、人なつかしさがあつた。むろん、戦争中のこと、教練は重要教科であり、きびしさを加えていた。しかし、こんなえこひいきのはげしい先生も珍しい。

気に入られると、どんなに下手でも95点、反対に予科練（海軍の少年飛行兵）へ行ける位上手でも嫌われたら最後70点より上にはいかない。私は特にごまをすったわけではなかったが、お気に入りの一人だった。愛用の万年筆をもらったこともあつた。

卒業して10年、私は肺浸潤にかかった。来る日も来る日も天井を見つめていた。学問と芸術と恋愛に夢中になれなかったら何があるのだろうと言った人がいる。



第17期卒 佐々木 努

私には何も無い。1年、2年、3年私は自殺ばかり考えるようになった。今生の別れにと、戦災にも焼けずに残っていた東実時代の日記を読み返してみた。勉強もすることながら教練が大きくクローズアップされていた。元気一杯自分の青春をたたきつけていた。多摩川べりの戦闘教練、小雨降る中、英霊の儀仗隊、街中を駆けめぐった市街戦、そして、きびしくやさしい宮野先生の顔が浮かんできた。懐かしい声が聞こえてきた。

「佐々木、死ぬな、生きるんだ、生きるんだ、お前は意気地なしじゃない」。

私はこれといった方法はなかったが自殺はやめた。病氣も次第によくなってきて、生き返った。

それから10年、昭和37年秋、宮野先生が病に倒れたことを聞き、自宅にお見舞い上がった。藤椅子に休んでおられた先生に、私の今日あるのは先生のお蔭と言うこと、勉強はほとんど忘れたが、教練だけは体がおぼえていることなどを申し上げた。

(この原稿は去年のものです)

楽しい室内空間作りのお手伝い

インテリア 遠藤商店

遠藤 孝一

22期 商業科

東京都大田区久が原3-34-12

TEL (03)3752-3027 FAX (03)3752-3359

クロダエンジニアリング株式会社

機械・プラント・電子機器設計
CADソフト及びCAD入力業務全般

〒230 横浜市鶴見区平安町2-3-3

TEL. 045-502-0606

FAX. 045-502-5590

代表取締役社長 黒田 芳彦 (昭39卒)

電灯電力設備内外線工事、設計施工

大山電気工事株式会社

代表取締役

大山 修一

第43期卒 (機械科)

〒220 横浜市西区北軽井沢56

TEL.(045)311-9750 FAX.(045)320-6660

不知老

方円会いよいよ盛んの13名



第16期卒 青木茂夫

お詫びする。

本年は6月13日(土)と決まったが会場は未定だ。

平成9年6月14日(土)13時、9日梅雨入りしたらしいと発表があったが、気温28℃晴、鶴見駅前翠華楼にて、理事長、校長の両先生、我々14名合わせて16名、理事長は東京高校の同窓会総会に出席のために中座されましたが、毎回出席くだされ一同感謝しております。

73才となった14名は、お互いの健康を慶び合い。すぐに少年になった。口は達者だ。頭の上を後から話が飛び合う、会場は騒然となるので、司会進行に大声を出すことになる。

小宮が当日病欠で、かなり司会進行に支障が生じた。誌上でお詫びする。また案内状に変更があったことを



乙女から母、そして祖母

平成8年6月28日(土)同窓会総会後の懇親会にて、昭和39年女子商業科卒業生のミニクラス会を開きました。

30年余り中断していて、疎遠になっていたクラス会でしたが、10名の昔の生徒が、遠くは埼玉県、千葉県から集まりました。旧姓松下先生もお元気で出席して下さいました。何十年ぶりです。会う友人も何人かはいましたが、旧姓で呼び合い、アッという間に高校時代に戻っ

第39期卒 山中俊子



てしまいました。話題の中心は何といっても健康についてで、次に子どものこと等、久びさに出会った同級生と話が尽きず2時間がアッという間に過ぎてしまいました。

この続きは2次会でと駅前の喫茶店でまた2時間ほど語り、楽しい1日を過ごしました。またの再会を約束して解散しました。



1997. 6. 28 蒲田アベアにて

事務局だよ

一人でも多くの卒業生に、見易く親しまれる会報として発行される同窓会機関紙「東実同窓会報」は、今回で第9号になります。

機関紙を通して、先輩、同期、後輩の卒業生相互の、または母校の絆を保ち、同窓会の環を広げる手助けになれば幸いです。

★お知らせ★

同窓会では、毎年、つぎの行事を行っております。どなたでも参加できますので、お気軽にお誘い合わせの上ご参加下さい。ご請求いただければ案内状をお送りいたします (FAX: 03-3732-4456)

1. 定期総会 (6月中旬)
2. 懇親旅行 (9月初旬、土日一泊)
3. 有志新年会 (1月最終土曜日)

学校行事 (昨年)

1. 体育祭 (10月2日) 会場は新木場の夢の島
2. 東実祭 (11月3日)

毎年11月第1金土日 (日曜日は一般公開しています) 母校、会場内に「同窓会の部屋」を設けてあります。

☆お願い☆

・終身会費の納入について

同窓会活動を活発化するために、終身会費の納入にご協力下さい。納入された方には、名簿登録し、会報を送付いたします。

・納入方法：全国郵便局より口座番号 00160-0-0056316 東京実業高校同窓会宛 金額1万円 (但し、平成2年度以降の卒業生は、卒業記念費に含まれますので納入済です)

・会員名簿について

平成4年度版会員名簿ご希望の方ご連絡下さい。

・会報への投稿

クラス会開催の呼びかけ、報告、近況等ご利用下さい。

・広告掲載

営業されている方は広告欄をご利用下さい。

(〒144 大田区西蒲田8-18-1)

事務局

電話 3732-4481 (代)

FAX 3732-4456

～ ご注意 ～

最近、同窓会と称して「只今同窓会名簿を作成中です。住所、電話、勤務先をお知らせ下さい」とか「周年行事で新聞に広告を掲載しますので代金を振り込んで下さい」。など、情報や金銭を集める業者がいる旨の苦情が事務局に入って来ます。これらは事務局とは一切関係がありませんのでご注意ください。また不審に思われた時は直ちに事務局へご連絡下さい。

事務局 (米田)

ありがとうございます。

第16期卒の小宮龍雄氏より同期の貴重なアルバムを一部寄贈していただきました。今年の東実祭から、一般公開の資料に加えさせていただこうと思っております。(事務局)

おねがい

同窓会では、東実祭に古いアルバムを一般公開しておりますが、まだ全部揃っておりません。

卒業期のアルバムが欠けておりますので、同窓会に寄贈してもよいと思われる方は事務局にご一報下さい。(事務局)

編集後記

何回となく編集会議を開催し、ここに会報第9号ができました。

ご多忙の中、ご寄稿くださいました先生方をはじめ、会員の皆様方に心からお礼申し上げます。

又、広告掲載にご協力いただいた方々にも厚くお礼申し上げます。(滝口)

〈編集委員〉

編集委員長	滝口房枝
編集委員	高橋洋太
"	多田和人
"	佐藤マリ子
協力者	北井邦寿 (教員)
"	青木茂夫 (相談役)
"	臼田佳彦 (副会長)
事務局	米田仁昌